



学校教育目標 「ふるさと藍島を愛し、豊かな心と

たくましく生きる力をもった子どもの育成」

# はまゆう

北九州市立藍島小学校  
校長 宮崎 裕之  
親教会会長 島田 怜

令和2年3月24日 発行NO. 11

## 一年間お世話になりました

校庭の木々のつぼみも膨らみ、春がもうそこまで来ていることを教えてくれます。早いもので今年度も本日、修了式を迎えます。本来ならどの学年も学習のまとめをして、4月からの進級に備える3月になるはずでしたが、今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3月中の市内全校休校となりました。子どもたちの健康と安全を考えての措置であったとはいえ、急な決定、家庭で過ごす子どもたちの対応など、保護者の皆様にご理解とご協力をいただけたことに感謝しています。明日から春休みに入りますが、引き続き感染防止に努めていただきますようお願いいたします。

最後になりましたが、この1年間、本校教育活動にご支援、ご協力をいただきました保護者の皆様、地域の皆様に心より感謝申し上げます。今後とも変わらぬお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

### 新型コロナウイルス感染防止について

新型コロナウイルスは、飛沫感染と接触感染を考えると考えられています。

#### 飛沫感染について

感染者の飛沫（咳やくしゃみ）の中にウイルスが含まれていて、周りの人の粘膜（口、鼻、眼）にくっついて、感染が成立します。飛沫は、最大で2mまでしか飛びませんので、同室にいるだけ、もしくは感染している人とすれ違っただけでは感染は成立しません。無症状の人が予防的にマスクをすることは、実はあまり有用ではなく、咳をしている人がマスクをすることで感染予防になります。

#### 接触感染について

感染者が咳やくしゃみを手で押さえた後に、その手で周りのもの（ドアノブやつり革など）を触ることによって、ウイルスが付着します。それを他者が触れることによって、他者の手にウイルスが付着し、その手で口や鼻、目を触ることで粘膜から感染を起こします。万が一、手にウイルスが付着したとしても、手洗いやアルコール製剤による手指衛生で予防可能です。

#### 新型コロナウイルス感染症について

ほとんどの方はかかっても、軽度の症状を呈すのみで、自然に治ります。初期の軽度の症状が出ている段階で医療機関を受診しても、検査はしてもらえません。万が一、新型コロナウイルスに感染していたとしても、初期の治療は一般の風邪と全く同様です。いつもの風邪よりも、発熱や上気道症状、だるい感じ（倦怠感）が長く続く場合には、医療機関を受診しても良いと思います。もちろん、高齢者や基礎疾患がある方は早めの受診が必要かもしれません。

医療従事者、行政の方々が必死になって、新型コロナウイルスの対応に当たっています。医療従事者でなくても、各々何ができるかを考えることが大切です。

### 4月の主な行事予定

6	月	始業式
10	金	給食開始・委員会活動
14	火	親教会理事会
15	水	家庭訪問
16	木	全国学力学習状況調査（延期）
17	金	あいしま子ども会議
22	水	授業参観・学級懇談会
23	木	子ども読書の日
24	金	クラブ活動
27	月	避難訓練（地震・津波想定）

※ 今月の学校通信「はまゆう」は新型コロナウイルス感染防止の面から、島内戸別に配布せず、保護者配布のみとさせていただきます。同じ内容が学校ホームページで閲覧できます。

### お世話になりました

市内教職員の異動発令が出て、藍島小でも、教頭：前田聡一先生  
教諭：小川剛史先生  
養護教諭：秀舞彩子先生  
の3名が転出することになりました。本日の終了式後に子どもたちとのお別れ（離任式）を行います。島で過ごした期間はそれぞれ違いますが、3名とも子どもたちのために本当に熱心に勤務してくださいました。お世話になりました。新しい勤務地でのご活躍を願っています。

